

NIH（米国国立衛生研究所）の支援を部分的にでも受けた研究成果をオープンアクセスにする方針が、2005年5月2日より適用される。NIHに支援を受けた研究者は、雑誌に投稿しピアレビューを経てアクセプトされた論文の最終電子版を、NLM（国立医学図書館）のPubMed Centralに提出することを要求される。この目的として、研究成果のアーカイブを作成すること、これをファンディング運営に活用すること、一般からのアクセスを円滑にすることが挙げられている。

パブリックコメントの結果、論文が掲載されたジャーナルが発行されてから公開までの期間が、当初案の6ヶ月から12ヶ月となったものの、NIHはできるだけ早い公開が望ましいとしている。公開をできるだけ遅らせたい出版社との交渉で難しい立場に立たされる研究者が出ることを懸念する向きもある。NIHのこの方針が、生物医学分野の論文出版の状況を大きく変える可能性が予想されている。

## トピックス 1 NIH 支援による研究成果をオープンアクセスにする方針が適用される

NIH（National Institute of Health、米国国立衛生研究所）は、NIH支援による研究成果をオープンアクセスにする方針を2005年5月2日より適用する。これは2005年2月3日に発表されたものである。生物医学分野の論文出版の状況を大きく変える可能性のあることが予想されている。

この方針では、NIHによって支援を受けた研究者は、研究成果（論文）をNLM（国立医学図書館、National Library of Medicine）のPubMed Centralに提出することを要求される。提出するのは、雑誌に投稿しピアレビューを経てアクセプトされた最終版原稿の電子版である。NIHの支援を部分的にもしくは全面的に受けた、全てのリサーチグラントとNIHの所内研究に適用される。NIHでは、このためのシステム運営には、年間200万ドルから400万ドルかかると想定している。

次の3点が目的とされている。

- ① NIHが支援し、ピアレビューされた研究成果出版物のアーカイブを作成し、重要な研究成果を保存すること。
- ② ピアレビューされた研究論文を検索可能な状態で保持することにより、ファンディングをするNIH側が、より効率的な運営をするために利用したり、研究計画を理解したり、研究の科学的生産性を見たり、さらに、研究テーマの優先順位付けをするために活用したりすること。

- ③ NIH支援による研究成果に、一般の人や、医療関係者、教育者、科学者がより円滑にアクセスできるようにすること。

この方針は、まず2004年9月3日にNIHのホームページを通して提案された。その後2004年11月16日までにパブリックコメントが集められた。パブリックコメントは6,000件が寄せられ、今回発表された最終方針はこれを受けて改定し確定したものである。

当初提案された案からの最も大きな変更は、論文が掲載されたジャーナルが発行されてからパブリックアクセスが可能となるまでの期間である。当初案では6ヶ月であったが、最終方針では、できるだけ早く公開することが望ましいとしつつも最大で12ヶ月の遅延期間が設けられている。

この方針には賛否両論ある。賛同側は今回の方針は喜ばしいことであるとしているが、当初案では公開までの期間が6ヶ月とされていたところが最終的に12ヶ月となったことに対しては当初案からの後退であると憂慮を示している。一方、批判側は、研究者が、早く論文を公開したいNIHと公開を待つて欲しい出版社の間の交渉をしなければならないため、研究者が難しい立場に置かれることを懸念している。

### 参考文献：

- 1) “Implementation of Policy on Enhancing Public Access to Archived Publications Resulting from NIH-Funded Research” (Notice Number: NOT-OD-05-045, NIH Guide for Grants and Contracts, April 29, 2005), : <http://grants.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-05-045.html>
- 2) “Policy on Enhancing Public Access to Archived Publications Resulting from NIH-Funded Research” (Notice Number: NOT-OD-05-022, NIH Guide for Grants and Contracts, February 3, 2005), : <http://grants.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-05-022.html>
- 3) Nature, Vol.433, p561, February 10, 2005